

当事者部会での意見（実態調査：障がい者対象）

項目	意見
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果をどのように反映させるのか明白になっていると回答しやすい。 ・ なぜこの設問をするのか、何を変えようとしているのか、目的や意図が分からないと、回答意欲につながらない。 ・ 当事者の回答には支援が必要なため、窓口で一緒に回答を作成するなどができると良い。 ・ メールや電話でも回答可能とするなど、多様な回答方法があると良い。（回答するために支援が必要な場合、ヘルパーさんの貴重な時間を使ってまで回答しようと考えない。） ・ 選択肢を減らし、シンプルにした方が回答しやすい。 ・ 自由筆記が難しい方もいる。ある程度は選択肢を用意した方が良い。
(問16) 65歳になったとき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳がまだ先な人はイメージできず、回答しづらい設問だ。 ・ この設問で何を聞きたいのか整理する必要がある。 ・ 不安があるか、知っているかという設問ではどうか。
(問28～32) 情報・コミュニケーションについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ この設問での「情報」と「コミュニケーション」について定義が必要。「情報」は「福祉についての情報」とした方が良い。 ・ 調査の目的が、不足しているものを補うためか、充実させたいのかによって設問も変わる。不足がない前提の設問に見えるが、現状把握が必要ではないか。 ・ 「コミュニケーション」の選択肢に「点字」、「対面」が必要。 ・ 設問の順番が悪く、分かりにくい（情報、コミュニケーション、情報、コミュニケーションの順になっている）
(問35) 災害の備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備していない理由として「賞味期限などの管理ができないから」という人も多いのでは。 ・ 災害も情報を入手しているか否かを聞いた方が良い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断されたことがあるかや、障がいの状態について説明を受けたことがあるかという設問があると良い。